

平成26年度高松市公開事業評価 事業シート

事務事業名	コミュニティセンター等講座事業				事業開始年度	平成19年度											
上位施策名	生涯学習の推進				担当局	教育局											
根拠法令等					担当課	生涯学習センター											
実施の背景	地域文化の向上を図り、地域住民の学習要求に応えるため、従来から、地域の公民館において、社会教育活動の一環として、様々な講座を開設しており、公民館のコミュニティセンター化に伴い、コミュニティセンター等講座事業として継続している。																
目的 (どのような状態にしたいのか)	地域住民が、身近な施設である各地域のコミュニティセンターに集い、関心のある分野について、学習する機会を得て、生きがいの一つとするとともに、住民同士が互いに学びあい、交流することによって、地域の連帯意識を高め、地域活動へ積極的に参加するようになり、地域コミュニティの再生に寄与する。																
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民（生涯学習に関心のある市民等）															
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金															
	事業内容 (手段、手法など)	市内の52コミュニティセンターにおいて、趣味・実技講座、教養講座、子どもの居場所づくりに対応した講座、生涯学習リーダー養成講座、ブロック別現代的課題講座など、各種講座を開催する。 従来は、地域の公民館において、公民館講座として実施しており、公民館のコミュニティセンター化及び指定管理者制度への移行に伴い、コミュニティセンター講座として、コミュニティ協議会に委託して実施している。															
	関連事業 (同一目的事務事業等)	女性教室推進事業、家庭教育推進事業、高齢者教育推進事業、生涯学習推進事業、市民参画促進事業															
コスト	26年度（予算）		25年度（決算）		24年度（決算）		23年度（決算）										
	事業費合計	21,216	千円	20,958	千円	21,170	千円	21,127	千円								
	事業費内訳 (平成25年度分)	委託料（講師謝金） 52コミュニティセンターに対して、講師謝金として委託料を支出している。 52館のうち、49館については、上限を@5,100×83回=423,300円とし、男木、女木、東谷の3館については、上限を@5,100×31回=158,100円として、委託料を支出し、結果的に2館で残額が生じ、257,550円戻入した。															
	人件費	0.9	人	6,516	千円	0.9	人	6,516	千円	0.9	人	6,699	千円	0.9	人	6,804	千円
	総事業費	27,732	千円	27,474	千円	27,869	千円	27,931	千円								
財源内訳	国県支出金		千円		千円		千円		千円								
	地方債		千円		千円		千円		千円								
	その他特財		千円		千円		千円		千円								
	その他特財の内容																
	一般財源	27,732	千円	27,474	千円	27,869	千円	27,931	千円								
	財源合計	27,732	千円	27,474	千円	27,869	千円	27,931	千円								

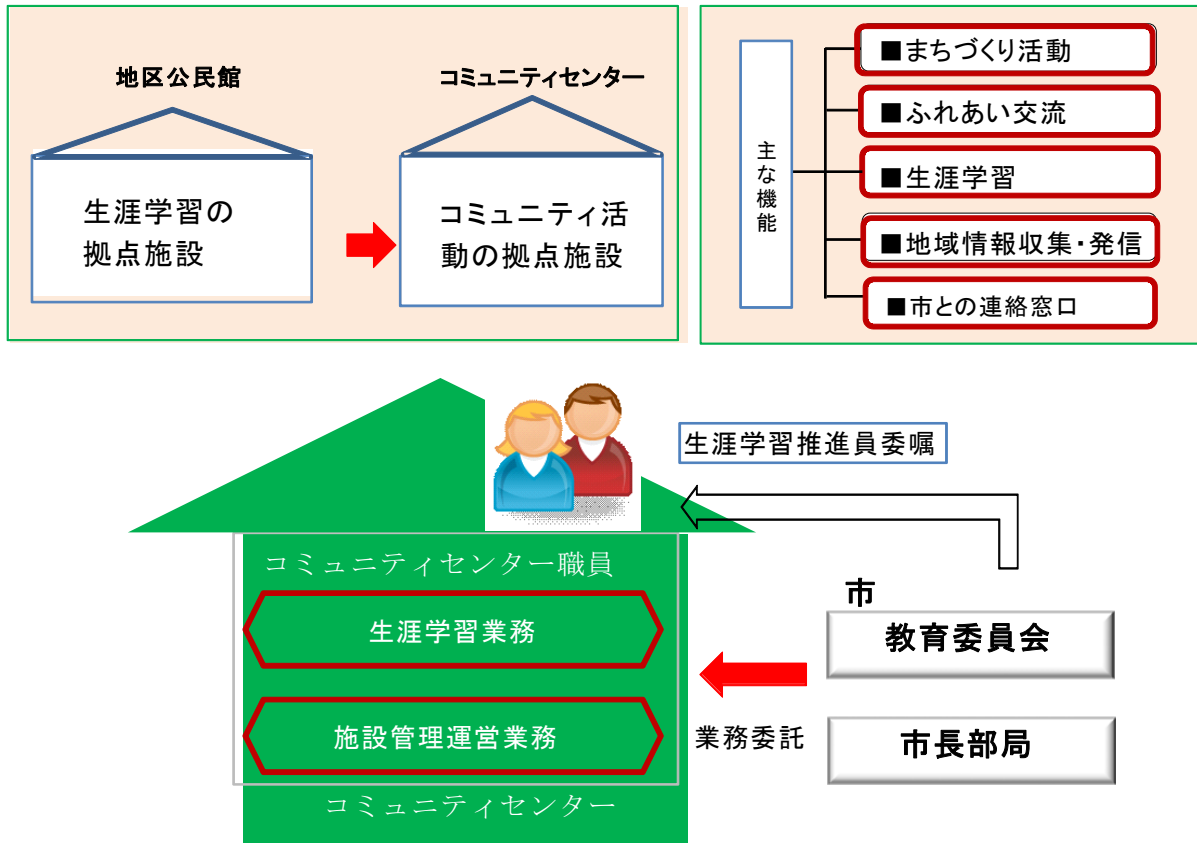
平成26年度高松市公開事業評価 事業シート

事務事業名	コミュニティセンター等講座事業			事業開始年度	平成19年度								
対象数	【対象指標名】	単位	H25年度	H24年度	H23年度								
	高松市の人口	人	426,707	426,712	426,718								
活動実績	【活動指標名】	単位	H25年度	H24年度	H23年度								
	講座開催回数	回	5,455	5,553	5,332								
成果目標 (目標設定理由等)	講座受講者数の増加												
成果 (目標達成状況)	【成果指標名】	単位	H25年度	H24年度	H23年度								
	講座受講者数	人	102,572	106,364	102,275								
事業の実施状況と課題・今後の事業方針	<p>講座回数、受講者数とも、平成22年度までは、増加し、その後は、横ばいとなっている。魅力のある講座を増やして、より多くの市民に学習機会を提供するよう努めていく必要がある。</p> <p>また、講座内容や受講者が固定化する傾向があり、市内を5つに分けたブロック学習圏において、ブロック単位での合同講座の開設や研修会を通して、各コミュニティセンターの連携と情報共有を図り、地域の生涯学習の取組の向上に努めていく。</p>												
住民意向分析	<p>平成24年に実施した生涯学習市民アンケートによると、今後、生涯学習を「したいと思う」と「機会があればしてみたい」が合わせて78.1%となっており、生涯学習のニーズは認められる。</p> <p>また、同調査で、コミュニティセンターの満足度について、「大変満足」と「満足」が合わせて40.9%に対して、「少し不満」と「大変不満」が合わせて5.4%となっており、一定の評価を得ている。</p>												
類似都市の状況	<p>社会教育状況調査による平成24年度香川県内市別講座数・受講者数（少年対象・青年対象・成人一般対象・女性対象・高齢者対象の講座）</p> <table border="0"> <tr> <td>高松市（1,262講座・40,808人）</td> <td>丸亀市（144講座・3,656人）</td> </tr> <tr> <td>坂出市（20講座・415人）</td> <td>善通寺市（5講座・424人）</td> </tr> <tr> <td>観音寺市（139講座・3,472人）</td> <td>さぬき市（13講座・632人）</td> </tr> <tr> <td>東かがわ市（実施していない）</td> <td>三豊市（212講座・5,752人）</td> </tr> </table>					高松市（1,262講座・40,808人）	丸亀市（144講座・3,656人）	坂出市（20講座・415人）	善通寺市（5講座・424人）	観音寺市（139講座・3,472人）	さぬき市（13講座・632人）	東かがわ市（実施していない）	三豊市（212講座・5,752人）
高松市（1,262講座・40,808人）	丸亀市（144講座・3,656人）												
坂出市（20講座・415人）	善通寺市（5講座・424人）												
観音寺市（139講座・3,472人）	さぬき市（13講座・632人）												
東かがわ市（実施していない）	三豊市（212講座・5,752人）												
備考													

コミュニティセンター等講座事業

事業の流れ

従来は、地域の公民館において、公民館講座として実施している事業で、公民館のコミュニティセンター化及び指定管理者制度への移行に伴い、コミュニティセンター講座として実施している。



- ・コミュニティセンターは、地区公民館から移行後においても、生涯学習機能を持つ地区学習圏の拠点施設として位置付けられている。
- ・コミュニティセンターの指定管理者であるコミュニティ協議会に対して、コミュニティセンター講座の開設を委託している。
- ・市教育委員会は、コミュニティセンターの職員を「生涯学習推進員」として委嘱し、毎月定例会を開催して、情報共有を図るとともに、生涯学習スタッフ養成講座（コーディネーター養成講座）を開催して、生涯学習機能の向上を図っている。
- ・市内を5つのブロックに分けたブロック学習圏を設けて、ブロック単位で共同の講座を開催したり、情報の交換や課題の協議を行うことにより、コミュニティセンター相互の連携と生涯学習推進員のスキルアップを図っている。
- ・コミュニティセンターの生涯学習活動として、コミュニティセンター講座のほか、女性教室、高齢者教室、家庭教育学級を開設している。

コミュニティセンター等講座事業

事業目的

地域住民に学習機会を提供することにより、コミュニティ域内における住民の生涯学習への積極的参画を促進し、仲間づくりや地域の連帯意識の高揚を図る。

事業内容

次の内容の講座を年間83回以上実施する。

- 1 趣味・実技講座
お菓子づくり、ペン書道、園芸、茶道、生け花、ギターなど
- 2 教養講座
次の12ジャンルから選択して実施
環境学習、人権学習、男女共同参画学習、親子のふれあい学習、心と体の健康教育、郷土史学習、国際化学習、情報関係学習、ボランティア学習、水問題学習、防災学習、再チャレンジ
- 3 子どもの居場所づくり
学校週5日制に対応し、児童・生徒を対象とした体験学習や地域との交流を深める講座
- 4 生涯学習リーダー養成講座
地域における生涯学習の推進について助言できる指導者を養成するため、ブロックごとに担当コミュニティセンターが現代的課題に関する学習プログラムを実施
- 5 ブロック別現代的課題講座
ブロック内の住民を対象に、各コミュニティセンターが連携し、現代的課題に関する学習プログラムの作成、受講生の募集及び運営を行う。

講座回数・受講者数の推移

(単位：回、人)

年度		H18	19	20	21	22	23	24	25
回 数	コミセン講座	4,609	4,835	4,988	5,167	5,308	5,332	5,553	5,455
	女性教室	624	599	567	547	680	479	512	483
	高齢者教室	612	609	628	644	1,237	605	614	600
	家庭教育学級	454	491	483	475	461	478	472	460
	計	6,299	6,534	6,666	6,833	7,686	6,894	7,151	6,998
受 講 者 数	コミセン講座	82,411	94,225	96,280	97,119	102,518	102,275	106,364	102,572
	女性教室	16,462	15,836	15,325	15,092	13,207	12,514	12,025	12,291
	高齢者教室	24,322	25,198	27,556	28,030	25,702	25,069	21,850	21,455
	家庭教育学級	24,963	26,943	29,913	29,365	29,055	28,783	28,265	22,290
	計	148,158	162,202	169,074	169,606	170,482	168,641	168,504	158,608

※本事業の該当講座は網掛け部分のみ